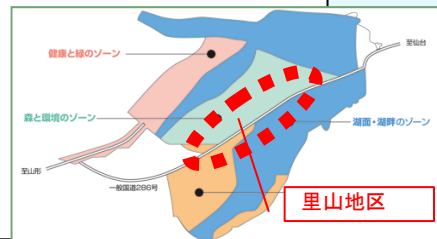


みちのく公園「里山地区」の「志」

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



5月5日(祝)・7日(土) GWです

連休です。大勢のお客様が森の楽校に遊びにいらっしやいました。ボランティアのものづくりの活動はせず、里山冒険遊びを楽しんでもらいました。



5月14日(土) 晴れ 春のイベント

開園2周年をお祝いする「春のイベント」開催!

- 体験プログラム：薪割り、竹細工、丸太切り、焼印、ペンキ塗り、竹すだれ、ツリーハウス
- 食器：半割り竹の食器、竹のお箸
- 春のふるまい：タケノコご飯、蒨の煮もの、天ぷら（ヨモギ、蒨の葉、シイタケ、ウルイ）、タケノコの穂先の汁もの



5月21日(土) 晴 活動いろいろ

久しぶりに落ち着いた活動でした。手分けしていろいろな活動をしました。



■本日のその他の活動

- ・ログハウスづくり
- ・新規遊具改良整備
- ・太陽の広場の残材運搬、焼却
- ・畑の作業：種まき、苗植え付け
- ・竹林の整理

5月28日(土) 森の楽校

5月の会員活動は、竹三昧です。タケノコ掘り、飯盒のタケノコご飯炊き、竹のお箸づくり、竹切りに竹細工。野草も食べました。

竹が、人の暮らしに親しいことを感じてもらえたかな？



ログハウスづくり

森の楽校で、去年の春から始めたログハウスづくり。1年が過ぎ、4段目まで積み上げました。

ログハウス(log house)とは、基本的にはlog ログ(= 樹木の幹や枝をシンプルに切り出したもの)を主要な構造材として使用した家屋・建築物を指します。つまり、細かく(板状などに)製材するなどしていない材料、もとの樹木の形がほぼ残されているような材料で作られたものを指します。日本語では丸太小屋(まるたごや)とも呼ばれます。

■歴史

ログハウスの歴史は古く、発祥の地とされる地域ははっきりとしませんが、森林資源が豊富という共通点を持った地域を中心に発達してきました。

ログハウスが現在の原型を成してきたのは、1700年代の北米大陸への移民と、それ以前からあった北欧系のログハウスの二つに分かれます。

日本古来の校倉造の正倉院、あるいは長野県の農村で見受けられる伝統的な板倉「せいろう倉」は、断面が三角形や四角形の木材を組み上げて作られており、実は、これらも英語の「log house ログハウス」に分類されうると考えてよいと言われています。

■丸太組み工法

ログハウスとは丸太を横にして積み上げて壁を構成し、その交点で丸太をお互いに切り欠いて組み合わせたもので、日本の建築基準法では「丸太組構法」と呼ばれています。「丸太」と呼んではいますが、実際の断面形状は丸い物だけではなく、長方形に加工した物も含まれます。

横に積んだ木材が乾燥と荷重によって数年かかって縮み下がる「セトルダウン」(または「セトリング」)と呼ばれる現象が伴うので、窓・ドアなどの建具を予め将来起こるべきセトリング幅を見越して「寸足らず」に作っておく必要があります。

2015年7月25日



2015年11月28日



2016年5月21日



これからの活動予定

■6月の主な活動

6月4日(木)	ボランティア活動
6月11日(土)	森の観察会(会員・一般) ボランティア活動
6月18日(土)	ボランティア活動
6月25日(土)	森の楽校(会員・一般) ボランティア活動

- 春が深まり、一気に草丈が伸びてきましたね。マダニやハチなどに気を付ける時期です。
- スギを伐採している「太陽の広場」ですが、ここは雑木林を再生する予定です。今は、フジヤクスが繁茂し始めました。そろそろ、1回目の刈り払いをします。
- この秋には、ドングリの里親活動で、苗づくりも開始します。